

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河下流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各市町田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

江別市 石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心よりどころとしての役割を果たしている。地域の自然環境は豊富である。

当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し景観豊かな町である。

【課題】

江別市 自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組むことが課題である。

当別町 地域住民のみならず、周辺地域からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》

江別市 緑地や樹林地、水辺等の自然景観や自然環境の保全に努める。

当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

排水路 道路沿い及び農地内に位置する3面コンクリート張であり、陸域・水域ともに路線全体を通じて環境に大きな差異は認められないが、各路線の排水本川は異なることから、生息する魚類相が異なることが推測される。流域が大きくより多くの種が確認されると考えられる八幡南8号排水路下流部での調査を基本に、魚類については排水本川の違いを考慮し八幡25線排水路下流部でも調査を実施する。

排水機場 八幡第1排水機場近傍の河川敷において、湿地等を創出する自然再生事業が行われており、施工の影響が懸念されることから、調査を実施する。

○ 調査項目の考え方

排水路 陸域については、周囲を農地に囲まれており、地区内の同環境で行われた既往調査結果により把握可能であることから、これを活用。一方、水域については、施工対象の排水路における既往調査結果が無く、排水路施工に際し直接的な影響が生じることから、魚類及び植物調査を実施する。

排水機場 予定地近傍の湿地に生息する鳥類への影響が懸念されることから、鳥類調査を実施する。

《環境調査内容(案)》

○調査項目 ①鳥類 ②魚類 ③植物 ④水質

○調査方法 鳥 類 : ポイントセンサス法
魚 類 : 採捕調査
植 物 : 植物相調査
水 質 : SS、濁度